

池田市地域ビジョン（案）に対するご意見と

それに対する本市の考え方

1. 実施内容

趣旨

本市では、自分たちの地域の現状を踏まえ、持続可能なまちづくり、新たな地域活力の創出を図ることを目的に、地域の将来像を描き、まちづくりの方向性を明確化し、地域と市が協働して、地域のまちづくりに取り組むための指針となる「池田市地域ビジョン」を策定します。

提出期間

令和4年11月14日（月）～令和4年12月5日（月）（郵送の場合は必着）

提示資料

池田市地域ビジョン（案）概要

2. 意見提出状況とご意見に対する本市の考え方

意見提出状況

提出者数 2名

提出件数 9件

パブリックコメントに対する本市の考え方

※ご提出いただいた意見は、趣旨を変えない範囲内で文言の調整等をしているものがあります。

No.	意見の概要	本市の考え方
1	【秦野地区】 ■まちの将来イメージ 「～みんなが主体的に」だけでは一体感がないので、「助け合い」の文言を追加してはどうか。	「みんなが」にご指摘の意味を意図していましたが、ワークショップからも「助け合い」の表現が出ていたことから、次のように表現を見直します。 <u>地域みんなの主体的な活動と助け合いで、笑顔と安らぎにあふれるまち秦野</u>
2	【秦野地区】 ■まちづくりの方向 先祖代々、伝統の祭を大事にしてきた。歴史と伝統に培われた祭りや盆踊り、祭り太鼓等についての項目・表現を追加してほしい。	市民アンケートの秦野学区においても、将来像「伝統芸能のいきづくまち」への回答が比較的高く、ご意見を踏まえて次のように追記します。また、他の項目と内容が重なるものは表現を整理させていただきます。 項目(2)に追記 地域で活動する団体やグループ・個人が連携し、 <u>子どもからお年寄りまで多世代の担い手で楽しく活動しよう</u>

		<p>項目(4)に追記 <u>祭り太鼓や盆踊りをともに楽しく体験する中で、やさしさや知恵の深さを実感しよう</u></p>
3	<p>【秦野地区】 ■校区の人口・世帯 2014年の校区変更の注釈はあるが、図を見ると人口が著しく減少し、高齢化が進んでいる印象になるので、現在の校区で過去の人口を出すべき。</p>	<p>現在、取得可能なデータを資料に記載しています。今後はデータ継続的な蓄積に努めます。</p>
4	<p>【五月丘地区】 ■まちの将来イメージ 五月丘は住宅地であり、自給自足の暮らしを連想させる「自然に寄り添う」より、「共生」という言葉が適切ではないか。 また、明るく元気なイメージの将来像にするため、「憩いを育む」より「潤いのあるまち」とすべきでは。</p>	<p>将来像が意図する方向はご意見と同じだと考えています。表現については人によって捉え方が異なりますので、ワークショップ等でのご意見を生かし、できる限りイメージを共有できる表現としています。</p>
5	<p>【五月丘地区】 ■まちづくりの方向 五月山の自然が美しいから、五月丘も美しいまちにしたいと願っています。「自然に癒される」よりも「五月山の自然と調和した」が適切と考えます。</p>	<p>自然を保全するだけでなく、より積極的にまちづくりや生活に生かしていきたいとするご意見を尊重し、こうした表現としています。</p>
6	<p>【五月丘地区】 ■まちづくりの方向 「アクティブシニア」という表現があるが、アクティブシニアだけでなく、すべてのシニアを対象として考えるべきではないか。</p>	<p>全ての高齢者を対象にすることはご指摘の通りであり、また高齢者に限らず全ての人を対象とするため、次のように表現を見直します。</p> <p>(2)互いに声をかけ合って、高齢者も元気に暮らせるまちにしよう</p>
7	<p>【五月丘地区】 ■まちづくりの方向 日常的に気軽に顔を合わせる場所が少ないことが五月丘地区の大きな課題の一つであり、また「ほっとできる居場所」だけを求めているのではなく、活力が生まれる「まちづくりの拠点づくり」に今後も継続して取り組む必要がある。</p>	<p>新たな機能については、まだ計画や住民の意見が成熟していないことから、第1項に「五月丘会館や旧図書館などの有効活用」を記載しています。ワークショップ等からは、より身近な日常生活の中での気軽な居場所や交流機会への期待があったことから、居場所としています。ご意見を踏まえて次のように表現を見直します。</p> <p>(3)出会いと憩いのある居場所をつくらう</p>
8	<p>【五月丘地区】 ■まちづくりの方向 「・住民同士、地域団体同士が対話・交流のできる場所と、集まる機会をつくらう」は、(4)ではなく、(3)に入る内容ではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえて対象項目を移動します。</p>

9	<p>【五月丘地区】</p> <p>■全体について</p> <p>まちづくりトークに参加できなかった人も多くおり、出された意見だけが五月丘全体を代表するわけではない。五月丘で最も多い15歳～64歳層の意見がどれだけ反映されているのか。地域が元気になれる未来が見える、目指したい地域ビジョンであることを望む。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。このビジョン(案)は第6次総合計画の「みんなでつくる将来のまちのイメージ」や第7次総合計画、市民アンケートなどを総合的に捉えてとりまとめています。ご意見を参考にしながら、市民主体のまちづくりの取組を進めて参ります。</p>
---	--	--

3. 問合せ

市長公室コミュニティ推進課 (Tel 072-754-6641)